

『川辺にて』 寸評

- ・ やりたいことがはっきりと伝わってくる←曲の個性
- ・ 編成と曲調がマッチしている←楽器の特質を理解した作品づくり
- ・ 旋律の自由な展開 機能から離れた和声 こちよ
- ・ ピアノの伴奏形の工夫 とりわけm.1-8がみごと
- ・ タイトルも素直でよい

完成度をさらに上げるために

- ・ m.12 b.3チェロをレにして一旦おちつきたい

- ・ m.2-3 ピアノ右手の記譜 

- ・ m.10 チェロの記譜 

- ・ ↑どちらもシンコペーションで第3拍目がかくれないように記譜しよう
- ・ m.13-16 どうしてもチェロが伴奏にきこえてこない
- ・ ↓たとえばピアノの対旋律のように整理したらどうだろう



- ・ 曲頭だけでもいいのでディナーミクをつけよう
- ・ m.13 ピアノのペダル指示は *simile* (同様に) とつけて、後は奏者に任せよう

m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

たいへんよくできました。

持庵 勉